



震災復興支援
活動情報

Vol.4

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、5月11日～5月16日に受けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行:仙台市市民活動サポートセンター 電話:022-212-3010

5月30日(月)



いちはら自然楽校

ものづくりの技をいかした復興支援活動

「いちはら自然楽校」は、千葉縣市原市でシニア世代の自然暮らしをサポートする活動を行っています。自分たちが得意とするチェーンソーを扱う技術やログハウス製作のスキルをいかして被災地の復興のお手伝いをしたいと仙台で活躍する仲間と連絡を取り合い、宮城野区蒲生地区に支援に入りました。行った作業は、津波の被害を受けた家屋の損壊した壁や床の除去と清掃、そして出来る範囲での簡易修繕です。

また道路を塞いでいた大きな赤松の処理に困っていると聞くと、代表の栗田さんがチェーンソーを使って見る見る間に幸せを呼ぶ「ふくろう」を彫り始めました。この他にも今まで厄介者でしかなかった流木が次々、ふくろうや熊、鯨などに再生されると集まってきた近所の方々は大喜び。さっそく復興のシンボルとして、避難所となっている岡田小学校に飾ろうということになりました。自分たちのものづくりの技が

被災された方々の笑顔につながるなら、多くの人たちを元気づけたいと、6月には再びチェーンソーアートの実演をすることになっています。

●内容/流木がクマやフクロウに大変身!

チェーンソーアートの実演をします。

日時:6月12日(日) ①11:00～ ②13:00～

場所:宮城野区蒲生字原屋敷30番地敷地内

お近くの方は、どうぞご覧ください。

●連絡先

代表者 栗田 宏武

TEL/FAX:0436(92)5239

E-mail:kurita@kaana.jp



みやぎ生協ボランティアセンター

日常生活に必要な支援活動

●内容/被災者のくらしと被災地の再生を応援するために、長期的・継続的な支援活動に取り組みます。各地域被災者のニーズや状態の把握と、被災者およびボランティアの双方への情報の提供を行って、ニーズに対応した活動につなげます。また、ニーズに対応したメニューの提案と実施を行います。

●連絡先

代表者 小澤 義春

TEL:022(218)5331 FAX:022(218)5945

連絡可能な時間帯 平日9:30～17:30(担当 山田)

E-mail:sn.mfukushinet@todock.jp



生活協同組合あいコープみやぎ

協同の力で人と人の つながりを作ります

●内容/バルシステム生活協同組合連合会と協同して、被災地での炊き出しを行っています。目的に添って学習会の開催やニュース等を発行しながら、震災後、物資のお届けをしています。人と人が助けあい、つながりを作れるように集いの機会を作っています。

●連絡先

代表者 吉武 洋子

TEL:022(284)7241 FAX:022(284)9324

連絡可能な時間帯 9:00～19:00(担当 鈴木 智子)

E-mail:tomoko-s@mamma.coop

ウェブサイト:http://www.mamma.coop



みやぎ手話工房フロムハート

聴覚障害者の方に日本手話でサポート

ひとりで悩みをかかえていませんか。被災してこれからの生活などについて不安や悩みをかかえ、困っている聴覚障害者の方は多いのではないのでしょうか。私たちは、そのような方々にメールやFAXまたはテレビ電話(手話会話)などを活用して、情報提供を行っていきたくと考えています。「手話」によるコミュニケーションで、苦しい思いをされている方たちのお力になりたいと思います。聴覚障害者の方たちが、どこでも情報バリアを感じることのない社会の実現をめざしています。私たちの活動が、悩みをかかえている方々の心のケアに少しでも役立つことができれば幸いです。どうぞご連絡ください。

●内容/ろう講師有志が集い立ち上げた団体です。手話は福祉という考え方を改め、きちんと「手話＝言語」と認識した上で、正しい日本手話を学習し、研究し、研修しています。震災の影響で、現在研修はお休みですが、聴覚障害者の方にとって情報バリアのない社会の実現に向けて、正しい日本手話の普及と啓発に努めていきます。

●連絡先 代表者 工藤 豊
FAX:022(251)6189
PCメール:deaf-mute-masakari@r5.dion.ne.jp
携帯メール:masakari_2007_deaf39@docomo.ne.jp
ウェブサイト:http://www.k5.dion.ne.jp/~masakari/
テレビ電話/フレッツフォンナンバー: 555666029



NPO法人ハートライフせんだい

福祉施設ハートライフせんだい 創働舎の復興へ

●内容/
精神障害者の日中訓練施設として、利用者の方々への震災後の対応のあり方を考えています。共同作業を通じて、生活訓練や社会性を身につけていくことを目的としています。社会参加は作業所通所から、自主性のある活動を応援します。

●連絡先
代表者 理事長 木村 眞智子
TEL:022(251)3923 FAX:022(251)3923
連絡可能な時間帯 月～金9:00～16:00
(ハートライフせんだい創働舎 担当 村田 酒樹)



ALL東北教育フェスタ

被災した子どもたちへの 学習サポートを通して

●内容/
被災した子どもたちへの学習サポートを通してストレスの軽減や生活の安定を目指し活動をしています。主に避難所にて小・中・高校生に学習支援を行っています。4月始めより多賀城市民文化センターにて、5月中旬より宮城野体育館にて学習支援活動を行っています。

●連絡先
代表者 本間 優子
TEL:080(5432)4551
連絡可能な時間帯 17:00～20:00
E-mail:tohoku.e.festa@gmail.com
ウェブサイト:http://tohokuedufesta.web.fc2.com/



チーム萩

復興支援の ボランティア活動をします

●内容/
花京院のゲストハウス「宿や萩」で出会ったボランティア同士が相互協力、相互連携をはかりボランティアチームとして活動しています。これまで、多賀城、女川などでボランティア活動を行ってきました。

●連絡先
代表者 岡崎 允彦
TEL:090(8316)9037
E-mail:kazuk.dll@gmail.com
ウェブサイト:http://teamhagi.wordpress.com/



士心道東北

援助活動をしています

●内容/
災害援助チームを被災地に派遣しています。日本財団の助成金を活用し、被災地で活動するボランティアの支援を行っています。

●連絡先
代表者 本間 義幸
TEL:022(290)0209 FAX:020(4622)1840
E-mail:cyurumaru168@yahoo.co.jp
ウェブサイト:http://shishindou-touhoku.jp/



NPO法人宮城県断酒会

まず酒害に悩むご家族を救いたい

震災後の不安を、身近に手に入るお酒で紛らわし、そこから抜け出せず依存傾向を強めていく方もいるかもしれません。また既に依存から立ち直っていても、この震災により再飲酒・依存へ戻る可能性も大いにあります。その場合、ご家族も巻き込まれて今後の生活再建に非常に大きな障害となります。そのような方々を救いたいと宮城県断酒会は例会の開催、酒害相談を行っています。

人に話しぶらいと一人で悩まず、思いを吐き出すことで楽になることもあります。あなたは一人ではありません。今酒害に苦しんでいらっしゃるご家族には、「どうぞ話をしてご自分を解放して下さい」と伝えたいです。

●内容/酒害に悩み、断酒を志す人々に、場所と情報を提供しています。◎断酒例会は、火曜日～日曜日まで仙台市内を中心に県内で実施しています。無料で予約は不要です。◎酒害相談は、毎日受け付けています。事務所には相談員が常駐しています。◎酒害者社会復帰事業として、アルコールリハビリ施設キャンパス「どんぐり」と就労支援施設ワーク「しんせい」を運営しています。

●連絡先

代表者 大平 孝夫
TEL:022(214)1870 FAX:022(738)7181
連絡可能な時間帯 9:00～17:00(担当 山谷)
E-mail:miyagidansyu@yahoo.co.jp
ウェブサイト:http://www15.ocn.ne.jp/~miyadan/



助っ人みやぎ

被災された方を 専門知識でサポートします

●内容/

震災を受け、税理士・司法書士・行政書士・社会保険労務士等による無料相談会を毎月1回行っています。様々な資格をもつ助っ人みやぎのメンバー(20名程)は、市民の皆様からの相談に柔軟に対応することができます。

●連絡先

代表者 濱田 和志
TEL:022(781)8809 FAX:022(781)8819
E-mail:kazushi.hamada@kke.biglobe.ne.jp



NPO法人日本ファシリテーション協会

ファシリテーションを活用した 災害復興支援

●内容/

グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行う“ファシリテーション”の普及事業を通してファシリテーションのマインドとスキルを最大限に発揮し、復興支援に関するファシリテーターの派遣などを行っています。

●連絡先

代表者 徳田 太郎
TEL:03(5771)7573
E-mail:fukkou311@faj.or.jp
ウェブサイト:https://www.faj.or.jp/



中小企業診断士研究会

中小企業の経営支援を行います

●内容/

◎県内中小企業の被災状況に関する情報交換
◎被災企業に対し金融や雇用面での公的支援策のご紹介
◎被災企業の事業再生計画の策定支援
◎被災企業経営再建のための販路拡大、マッチングなどの支援。

●連絡先

代表者 清野 浩司
TEL:022(348)3566 FAX:022(348)3566
E-mail:gaia@seino-family.com



仙台ゾウプロジェクト

復興支援をお手伝いしています

●内容/

◎マルシェSZP物資調達(初期段階)
◎歌津のメンバー支援(物資、ガソリン等)
◎お掃除志隊(石巻・東松島地区にのべ150名派遣)
◎雄勝小学校炊き出しプロジェクト
◎気仙沼大島の観光復興プロジェクト

●連絡先

代表者 長谷川 嘉宏
TEL:090(3640)9746
E-mail:hamokomi@w2.dion.ne.jp



3がつ11にちをわすれないためにセンター

さまざまなメディアを通じた支援活動を応援します

センターでは、市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録された映像、写真、音声、テキストなどを「震災復興アーカイブ」として記録保存します。震災の記憶の蓄積のため、センターには「スタジオ」と「放送局」があります。スタジオは情報収集やビデオカメラ等取材用機材の提供の他、テキスト執筆、映像や写真の編集、インターネットへの配信などにご利用いただけます。放送局ではインターネットを介した番組の収録と配信を行います。

●内容／

利用参加していただく際には、事前登録が必要です。
◎登録の条件 ◎申込手続きについては、
当センターの受付・相談カウンターにお問合せください。

●連絡先

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
TEL:022(713)4483 FAX:022(713)4482
連絡可能な時間帯 9:00~19:00(6/1から20:00まで)
(担当 伊藤、清水(チナツ)、北野)
E-mail:office@smt.city.sendai.jp
ウェブサイト:http://www.smt.jp/



御用聞きネット

被災した事業者の支援

●内容／

被災地事業者の支援として、被災された事業者が経営活動を再開できるように、カウンセリング・コンサルティングを実施します。

●連絡先

代表者 庄司 和弘
TEL:0229(32)3039



VIS仙台

ボランティア

ボランティア情報の収集と発信

●内容／

ボランティアニーズとボランティア志願者の架け橋となり被災者支援に従事しています。メンバーは、仙台市内から集ったボランティア10数名。GW以降減少傾向にあるボランティアを県内外から幅広く集められるようインターネットを使って正確で素早い情報提供を行っています。

●連絡先

代表者 大藤 多香子
TEL:090(1933)9823
E-mail:vis.info311@gmail.com
ウェブサイト:http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer12/

仙台市市民活動サポートセンターは、平成23年3月28日(月)~9月30日(金)まで市民活動団体、NPO・NGO等の復興支援活動のサポート拠点として運営を行います。

発行 行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2011年5月30日
編集 集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン: 氏家朗

